

# 海外でしか見られない珍しいこと・珍しいもの

日建協では、海外勤務にかかわる様々な情報をみなさんにお伝えしています。これまで、海外作業所のお昼ごはん、休日の過ごし方を紹介してきました。3回目となる今回は、その地域でしかみられない珍しいお祭りやイベント、地域の風習などを紹介します。

## 東洋職労組 けが人が絶えない過激なお祭り (フィリピン)

今年は800万人が参加



1606年1月9日、キリスト教の更なる布教のためメキシコよりブラックナザレという黒いキリスト像が送られました。フィリピンでは、毎年1月9日に「ブラックナザレの行進」の大祭が行われ、早朝より聖像を乗せた山車が出発し、4km程先のキアボ教会までの道のりを夜遅くにかけて練り歩きます。聖像に少しでも触れると病が治るといった奇跡が信じられており、熱狂的に多くの人が聖像に群がり、毎年多くの負傷者が出てしまうほどです。私も行ってみたいと思ひ、職場のスタッフに同行を求め「危ないからイヤ!」とつれない返事。何とかお願いして行進付近まで同行してもらったものの、熱狂的な群衆を遠くから見るのが精一杯でした。



レポート 新山 栄さん(一番右)  
(事務系職員 入社19年目)  
名古屋、大阪などの国内勤務を経て、2011年より国際支店配属。フィリピンには2013年に赴任。



【工事概要】  
工事名：パッシング・マリキナ河川改修事業  
発注者：フィリピン共和国公共事業道路省  
工期：2014年7月～2017年6月  
工事内容：河川・陸上掘削、鋼矢板護岸築造ほか

マニラは治水が進んでおらず、台風などの大雨によりたびたび洪水が起っています。そのため、護岸・河川改修により洪水緩和、沿線の環境改善を図ります。本工事は施工区域が河川沿線広域にわたるため、マラカニアン宮殿からマニラ市街地、旧中華街からスラム街と呼ばれる地区までフィリピンを様々な角度から見ることができます(キアボ教会も施工現場からすぐ近くです)。本工事は、毎日、協力会社含め500名以上が南国太陽のもと工事に従事しています。

## フジタ職組 街を彩る真っ赤な春節飾り (中国)



レポート 照井 晴美さん  
(事務系職員 入社9年目)  
入社後、東京、名古屋、本社を経て2013年11月から中国上海に赴任。

中国のお正月は「春節」と呼ばれ、日本で言う旧正月にあたります。春節には親戚が集まって食事を楽しみ、お参りに出かけます。毎年魔よけの意味がある花火や爆竹を盛大に鳴らすのが中国の風習ですが、近年は大気汚染に配慮して禁止や制限されています。この時期は1年で最も活気づく時期で、街中が真っ赤な春節飾りに彩られます。燈籠、提灯、切り絵細工等の飾りが街中に溢れ、お祝いムードを盛り上げます。会社の忘年会も盛大で、当事務所も部門ごとに練習を重ねた出し物を披露し、大変盛り上がりました。



現在、上海事務所には中国現地法人の本社と上海支店の約70名が勤務しています。徐家匯(じょかかい)という上海の中心部に位置し、地下鉄は3線が乗り入れています。周囲にはデパートが立ち並び、週末は食事やショッピングを楽しむ人で賑わいます。事務所の隣には教会(徐家匯大聖堂)があり、ウエディングドレス姿で写真を撮る花嫁さんをよく見かけます。現在は改修工事で見ることができませんが、2016年8月の工事完了が楽しみです。



【事務所概要】  
事務所名：藤田(中国)建設工程有限公司 上海事務所  
所在地：上海市徐匯区  
開設：2003年



## 五洋労組 クジラを崇拝するカウグ祭り (ベトナム)

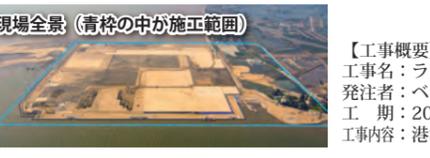


レポート 藤本 浩さん(左から2番目)  
(土木系職員 入社19年目)  
入社5年目から海外勤務。シンガポール、ベトナム、インドネシア、クウェートなどを経て、2012年3月より再びベトナム赴任。

ベトナムのカットハイ島では、年に一度、漁の安全と豊漁を祈るカウグ(Cau Ngu)祭りが開かれます。漁民が多いこの島では、クジラが事故から漁師を救うといういわれがあり、祭りは、クジラを崇拝し、クジラ神に対する感謝と尊敬の気持ちを表すことを目的に開催されています。また、島に繁栄、富、幸福をもたらすといわれており、華やかな衣装と飾りを持った住民が村から村へと練り歩きます。



このプロジェクトは、日本のODAにより土地造成、防波堤・防砂堤建設、航路・泊地浚渫、およびアクセス道路・橋梁の建設を行い、日本、ベトナム両国による官民連携(PPP)でコンテナバス、荷役クレーン、ヤード舗装、建屋など設備投資とターミナル運営が行われます。本工事はプロジェクトの先陣を切って2013年7月に着工し、コンテナターミナルとなる用地の埋立、地盤改良および外周護岸等の建設を行っています。



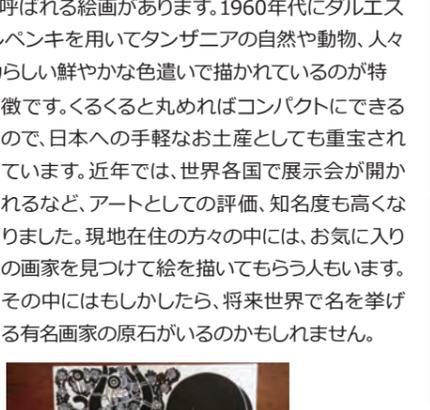
【工事概要】  
工事名：ラックフェン国際港建設プロジェクト  
発注者：ベトナム国  
工期：2013年7月～2017年11月  
工事内容：港湾施設(コンテナターミナル)建設

## 鴻池労組 ダルエスサラーム発祥の独特のアート (タンザニア)

タンザニアにはティンガティンガアートと呼ばれる絵画があります。1960年代にダルエスサラームで生まれたスタイルで、エナメルペンキを用いてタンザニアの自然や動物、人々の生活などを自由奔放、大胆かつアフリカらしい鮮やかな色遣いで描かれているのが特徴です。くるくると丸めればコンパクトにできるので、日本への手軽なお土産としても重宝されています。近年では、世界各国で展示会が開かれるなど、アートとしての評価、知名度も高くなりました。現地在住の方々の中には、お気に入りの画家を見つけて絵を描いてもらう人もいます。その中にはもしかしたら、将来世界で名を挙げた有名画家の原石がいるのかもしれない。



昨年(2015年)12月に引っ越したばかりの新事務所です。心機一転、皆リフレッシュして仕事に臨んでいます。しかしながら、立地上、事務所にたどり着くまでには大渋滞を超えなければならず、そのモチベーションを阻害することも...

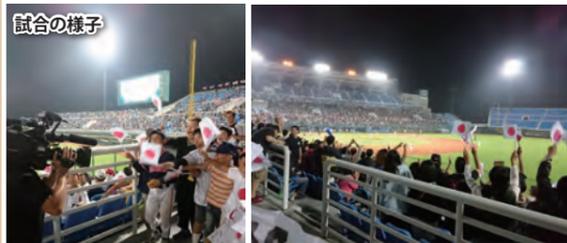


【事務所概要】  
事務所名：鴻池組ダルエス事務所  
所在地：ダルエスサラーム市  
開設：1992年

## 奥村職組 台湾で侍ジャパンの雄姿を! (台湾)

台湾は野球が非常に盛んです。シーズンオフには日本のプロ野球チームとの交流試合などが行われることが多いため、現地滞在の野球好きは非常に楽しみにしています。昨年はWBSCプレミア12が開催され、侍ジャパンの勇姿を台北で見ることができました。台北市から西に40km付近にある台湾では比較的大きな桃園国際球場で、小学生の息子が通っている日本人学校の方々と一緒にアメリカとの試合を観戦しました。

試合の様子



試合は10対2で日本が逆転勝ちし、大変盛り上がりました。



開削トンネル

**リポート 平野 佳彦さん**  
(土木系職員 入社22年目)  
台湾は12年目、高雄地下鉄、台北地下鉄など3工事に携わりました。

【工事概要】  
工事名：臺北都會區大衆捷運系統松山線 CG590B區段標工程  
発注者：台北市政府捷運工程局 中區工程處  
工期：2006年8月～2016年11月  
工事内容：地下鉄駅構築工事 開削トンネル シールドトンネル ほか

### TOPICS

台北市では渋滞緩和、環境対策のための地下鉄建設が進んでいます。当工事は、市内西部の西門駅と台湾鉄道松山駅間を結ぶ松山線のうち、南京東路の松江路交差点から東約2kmを共同溝とともに建設するものです。南京復興駅の東端部の開削工事は、激しい交通量の交差点、しかもMRTの高架橋下の施工であり、25区画に分けて占用帯を切り替える必要があるなど、非常に困難な工事となりました。

## 安藤ハザマユニオン 托鉢ではじまる朝 (ラオス)



リポート  
**谷西スーザン愛美さん** (左)  
(事務系職員 入社6年目)  
2015年9月から3ヶ月のピエンチャン長期出張を経て、2016年1月から赴任。

ラオスの首都、ピエンチャンの日の出は遅く、朝6時でも外はまだ真っ暗です。やっと明るくなる6時半頃から人々は家の前にごみを敷き、祈りを捧げながら僧侶たちを迎えます。托鉢とは、仏教において、修行中の僧侶が信者の家々を順番に巡り、食糧を乞う修行のことで、オレンジ色の法衣を纏い、寄付を受けながらその家の家族の幸せを念じているといひます。ラオスの人々は信仰心が篤く、毎朝熱心に祈りをささげています。毎朝の托鉢の風景をみながら、ラオスの人たちの深い信仰心が穏やかで精神的に豊かな人柄につながっているのだと感じています。

托鉢の風景



### TOPICS

ラオスはASEAN加盟国唯一の内陸国です。航空交通は本国において非常に重要であり、その需要は急速に拡大しています。中でもピエンチャン国際空港は国の玄関口として重要な役割を担っています。ラオス国からの期待に応え、またラオスの経済成長促進に寄与するというミッションを達成するため、日々職員が一丸となって取り組んでいます。

【工事概要】  
工事名：ピエンチャン国際空港ターミナル拡張事業  
発注者：ラオス人民民主共和国 公共事業運輸省 民間航空局  
工期：2015年12月～2018年7月  
工事内容：国際・国内線旅客ターミナルビルの拡張、建替工事 ほか



作業所の仲間たち

## 佐藤職組 街は幻想的な雰囲気 (シンガポール)

幻想的な風景



シンガポールでは中国同様チャイナタウンにて旧正月を盛大に祝います。Chinese New Year Celebrationsに合わせ、街中に中国伝統のランタンが灯され、幻想的な雰囲気に包まれます。ランタンに干支の動物がデザインされており、とても可愛らしいです。また、沿道ではこのイベントを盛り上げようと各種の催し(ライオンダンス、ステージショー)が行われ、チャイナタウンは正月ムード一色となり、毎年多くの見物客が訪れます。このランタン点灯は旧正月終了後の3月上旬まで楽しめます。



ジョホール海峡



リポート **小西 正人さん** (右)  
(建築系職員 入社8年目)  
4人家族。プロジェクトマネージャーとして海外工事に従事。海外赴任は5年目。

【工事概要】  
工事名：ヤクルトシンガポール工場増設改築工事  
発注者：シンガポールヤクルト株式会社  
工期：2014年10月～2017年5月  
工事内容：新築棟 RC造4階建 既存工場棟2階建

### TOPICS

当作業所はシンガポールの北、マレーシアとの国境近くに位置し、隣のビルの屋上からはジョホール海峡を眺めることができます。シンガポールではヤクルトの販売本数が増加しており、これに対応するための事務所移設および生産ラインを増設する工事を行っています。稼働中の改修工事であり、かなり難易度の高い工事になりそうです。現在は新築棟の完成に向け最終の追い込み段階です。

## 飛島労組 5つ星のさらに上のホテルに! (ブルネイ)



リポート **赤城 嘉紀さん** (後列中央)  
(土木系職員 入社8年目)  
2児のパパ。ローカルスタッフをまとめて、安全・品質・工程管理を行っています。2015年3月より単身赴任中。

世界には5つ星のさらに上の7つ星と呼ばれるホテルがあります。ドバイのブルジュ・アル・アラブは安くても1泊20万円からとされていますが、ここブルネイの7つ星ホテルの「エンパイアホテル」は1泊2万円泊まれる安い部屋もあるんです! (高い部屋は150万円します。) 最初は敷地の広さに比べて小さいエントランスに戸惑いました。ところが一歩足を踏み入ると、そこには壮大なロビーが! 傾斜を生かして建てられている為、エントランスからは想像できないほど内部は広く、部屋からは南シナ海を見渡すことができ、常夏の国でプールに浸かり、テラスで食事をしながら、サンセットを堪能できます。

7つ星ホテル!



現場風景



ホテルの地図。広い!



庭の先には広大な海

### TOPICS

工事を行っているのは、ブルネイ国王の宮殿のすぐそば。毎日のように国王や王族、観光客が往来する場所で、日々緊張感をもって工事を行っています。ブルネイで最も重要と言えるこの幹線道路の渋滞を軽減し、交通を円滑化するのが我々の任務です。国内だけではなく、中国、マレーシア、インドネシア、フィリピン、インド、多くの国からたくさんの方があつまり、日々協力し合って頑張っています。

【工事概要】  
工事名：パブラジャ・ツトンインターチェンジ建設工事  
発注者：ブルネイ政府開発省公共事業局  
工期：2012年6月～2016年6月  
工事内容：ポストテンション箱型桁橋、場所打ち杭 PC杭、舗装工事 ほか

## 戸田職組 新年を迎える水かけ祭り & カヤフェスティバル (ミャンマー)



リポート **鷹見 良朝さん** (左)  
(事務系職員 入社38年目)  
海外駐在経験15年のベテラン。ご本人は日本、奥様はイギリス、娘さんはアメリカ、息子さんはインドネシア生まれという国際的なご家族です。

ミャンマーでは、雨期が始まる直前の一番暑い時期である4月に新年を迎えます。新年を迎えるその日までの3～4日間が水かけ祭りのピークです。この期間には至る所に大小様々な水かけ場が造られ、街中水びたしになります。家の近くの裏通りを歩いていると、子どもたちがバケツに水を汲んで待ち構えており、ありがたく全身に水を浴びてしまいました。でも、なぜかこれだけでよっぴりこの国に溶け込めたかになって嬉しくなりました。



お礼をいただく

ミャンマーでは雨期が明けた満月の日をお釈迦様が天から降りてくる日として、パゴダ(寺院)や家の門などに火を灯し、祝日を祝います(ダディンジュの祝日)。この日に合わせ、年上・目上の方(お坊さん、先生、親など)にお礼を贈る習慣があり、ヤンゴンの作業所でも現地スタッフから感謝の言葉と民族衣装のロンジーをいただきました。



地元のごどもたち



街じゅう水びたし

【事務所概要】  
事務所名：戸田建設ヤンゴン営業所  
所在地：ミャンマー国ヤンゴン  
開設：2015年4月

ロイコーでは年に1度、カヤフェスティバルが開かれます。期間中は他州からも人々が集まり、普段の10倍ほどの人出となります。この間、遊園地の出店やセスナ機での遊覧飛行、人気ロックバンドのライブなど多くの催しがあります。フェスティバルに合わせ、当現場に所属するカヤ族(首長族)の女性スタッフの自宅に招いていただきました。ちなみに、普段は伝統的なネックレスはしていません。



カヤ族のお昼ご飯



伝統的なネックレスを披露



リポート **大江 泰輝さん** (左から2番目)  
(建築系職員 入社4年目)  
東京支店にて2現場経験後、2015年より海外事業部に配属。赴任10か月目。

### TOPICS

ロイコーはミャンマーでも標高が高く比較的涼しいです。ロイコー総合病院は、カヤ州の総合病院であり、同州の中核医療機関です。しかし、1964年に建設された病院本館は、劣化および老朽化が進んでおり設備も不十分な状況です。本プロジェクトは、地域の中核病院としての機能強化を目的とした施設・機材整備事業です。



現場全景

【工事概要】  
工事名：ロイコー総合病院整備計画  
発注者：ミャンマー連邦共和国  
工期：2015年2月～2016年7月  
工事内容：病院建築 RC造2階建

海外には日本では想像できないようなものがたくさんありますね。今回はそれぞれの国や地域で異なる文化や風習など、現地でしか見ることでできないものをたくさん紹介することができました。今回も、特集にご協力いただきました組合員のみなさん、本当にありがとうございました。ゼネコンの海外進出が加速する中、日建協は引き続き海外で働く組合員のみなさんの情報を広く発信していきます。